



モバイル中小企業賞

株式会社スマート・ナビ

\*新設分割により株式会社ポリグロットリンクを設立し、テレビ電話通訳サービス事業を継承しています。

Profile

株式会社ポリグロットリンク(現在の運営会社)  
事業内容 モバイル翻訳サービスの運営  
URL https://polyglot-link.co.jp/

# タブレットの簡単操作で24時間365日通訳サービス 端末の種類と言語を判別し、テレビ通話

## DATA

分野	店舗向けサービス
活用領域	外国語通訳サービス
テクノロジー	WebRTC、テレビ会議システム

増える訪日外国人は、新たな消費を生み国内経済を活性化すると期待されている。その際、頭を悩ますのが日本語以外の言語対応である。

タブレット・スマートフォンに簡易的な翻訳アプリも登場したが、話し方の癖やニュアンスを掴むには機械的な翻訳だけではまだ足りない。

スマート・ナビが提供する「テレビde通訳」は、この課題に応えるべく、待機している通訳スタッフが、求める言語の通訳サービスをタブレット上に提供するものだ。現在はベトナム語、タイ語などを含めた10カ国語に対応、料金は基本料金+利用時間による従量課金制(3プラン構成)となっている。

当初はiPad用サービスとしてスタートしたが、Androidにも対応した。

## タブレットを入口に 通訳人材不足を解消する!

サービス企画の理由を、現在同サービスを運営する株式会社ポリグロットリンク社長の橋本直紀氏は次のように打ち明ける。

「タブレットの用途として遠隔地の方のコミュニケーションが支援できること、労働人口の減少により各地で外国語を話せる人材の確保がますます困難になることから、通訳のマッチングサービスが求められると考えました」

直接通訳を派遣するケースと翻訳アプリで事足りるケースの間に、ニーズがあるとの確信だった。

「テレビde通訳」の利用時は、まずタブレットのブラウザから通訳を依頼したい言語を選ぶ。システムから該当言語の通訳スタッフに通知が届き、一番最初に応答したスタッフと画面がつながり、お互いの顔をタブレットのカメラで写しながら会話と翻訳を行える。表情が見えるため意志を伝



株式会社ポリグロットリンク  
代表取締役 橋本 直紀氏(写真右)  
ソリューション事業本部課長 大石 大輝氏(左)

えやすく、また翻訳のプロが関わることで国独自の文化や社会システムに根差した用語も伝わりやすい。

通訳スタッフはシフト制で24時間365日待機している(一部言語を除く)。

## Android 端末のテレビ通話は WebRTCでブラウザからシームレス

システムでは、利用端末がiPadの場合は、Facetimeが立ち上がる。Androidでは、「テレビ電話のアプリを立ち上げることも考えましたが、アプリをダウンロードする手間やOSのアップデート時の対応などが煩雑でした。そこで、グーグルクローム上でテレビ通話を行えるWebRTC技術を採用し、ブラウザで完結できる方法を選びました」と橋本氏は説明する。

すでに1000社を超える利用があり、言語別にみると、英語と中国語が大半を占めるものの、ポルトガル語とベトナム語が続いているとのことだ。利用動向を見ながらスタッフの配置や対応言語の拡大を進めていく予定だ。

企業が多様な言語の通訳を揃えなくても、また通訳スタッフの不在時でも安心して接客・コミュニケーションができる同サービスは、日本の「おもてなし力」をさらに高めるはずだ。

図 「テレビde通訳」の概要



ユーザー部門

プロバイダー部門